

中国生産子会社を增強

東研サーモテック

大型の熱処理需要対応

東研サーモテック（大阪市東住吉区、川崎修社長、06・6714・2425）は、中国・江蘇省蘇州市の生産子会社の東研（蘇州）熱処理を2012年4月までに增強する。13年に隣接地に新工場を建設する方針も固めた。投資額は総額十数億円とみられる。自動車部品や建設機械の大型部品などの熱処理需要の伸びに対応する。

東研熱処理は8月に稼働した。引き合いが活発化していることを受け、追加投資に踏み切る。大

型部品を高効率で熱処理できる大型ガス浸炭炉、エアコン用コンプレッサ

ているコンプレッサ部品などの熱処理需要にも応える。13年に新設する工場の

詳細は今後詰める。隣接地に用地約1万平方メートル取得した。日系企業の現地調達の拡大、現地企業の成長による自動車・建機・農業機械向け部品の熱処理需要増に対応する。新工場は大型品や難易度の高い熱処理、自動車部品のコーティング処理用の設備などを導入す

る。東研熱処理は敷地面積約1万平方メートル、延べ床面積約9500平方メートルの2階建て工場。自動車部品の熱処理需要を見込み、バッチ式ガス浸炭炉や連続メッシュ式焼き入れ・焼き戻し炉などを数基備えている。ガス浸炭炉の生産余力がなくなってきたほか、建機用などの大型部品向けの引き合いも予想を上回って推移しているため、增強を決めた。



一部品向けなどの窒化炉、クロムナイトライド（CrN）とダイヤモンドライクカーボン（DLC）の処理をできるコーティング装置などを導入する。日系電機メーカーが現地調達し

▲.....▲
来春までに增強する東研（蘇州）熱処理

日刊工業新聞
2011年（平成23年）9月3日付

日刊工業新聞社からの転載許可に基づいて掲載
本記事への著作権は日刊工業新聞社に帰属します
記事への改編、他への転載は一切禁止致します